

1 藤岡市の外国語活動・英語教育について

本市では、「学びのつながり」と「生徒指導の継続」をキーワードに、各中学校区における小中学校を連携型小中一貫校とし、小中一貫教育を推進している。英語教育においては、特別の教育課程申請を行い、平成27年度より小学校1学年から4学年で外国語活動を新設し、小学校1学年から中学校3学年まで一貫した英語教育を行ってきた。平成30年度より、学習指導要領の改訂に伴い、第1学年、第2学年のみ特別の教育課程申請を行い、外国語に慣れ親しみながら小中9年間の学びのつながりを踏まえ、英語教育の充実を図っている。

2 学習の様子（Web ページより一部抜粋）

【低学年】

3人組になって、“ready go!”の合図で一人一人1～5本いずれかの指を出します。そして、3人の指の合計を英語で数えました。「(最高は1人5本で3人の合計)だから15までの数字なのか!」「このグループは“thirteen”(13)!」「“twelve”(12)だよ!」15までの数字を何度も英語で発音していました。

【中学年】

4年生は、好きなことを伝える学習をしていました。“I like (時刻) am または pm.”“It's (好きなことやもの).”“I like (好きなことやもの).”「私の好きな時刻は午後7時です。夕食です。私はカレーが好きです。」「ぼくの好きな時刻は午後3時です。おやつの時間です。ぼくはラムネが好きです。」好きなものを絵で上手に描いていて、感心しました。

【高学年】

5年生は、自分の誕生日や好きなこと、欲しいものなどを伝える学習でした。「クリアボイス」「アイコンタクト」「ジャスチャー」「スマイル」を意識して練習をしたら、いよいよ本番です。“Hello. My birthday is ～. I like ～. I want a ～. Thank you for listening.”英語の伝え方だけでなく、スライドも絵を入れたり英語で書いたりするなど工夫していて感心しました。欲しいものがペンシルケースやテレビ、新しいゲーム、タブレット、スマートフォン、ウサギ、ベッド、大きなイチゴパフェ、ライブのチケット、チョコレートケーキ……。みんな違って一人一人の個性が輝く楽しい発表でした。振り返りには、「笑顔でジャスチャーをつけながら大きな声で発表できた。」など、4つのポイントを意識して発表した子がたくさんいました。

3 教員、保護者、地域の方より

- ・ALT 授業では活動を交えながら子供たちが楽しく学べていると感じます。
- ・英語教室には、日常的に使う英語や外国の文化を知る掲示物等があり、1年生から6年生までが英語に慣れ親しめるような環境づくりができています。
- ・階段や校内のいたるところに工夫された英語の掲示物があり、日常的に英語に触れられる環境が整っています。

- ・1年生から英語に親しんでいるため、高学年での「読む・書く」学習への移行がとてもスムーズです。
- ・ALTの生の英語と楽しい活動（絵本、ゲーム、歌）を取り入れることで、子どもたちが主体的に発話する授業づくりができています。
- ・学校での学習が楽しいようで、家でも習った色や動物、挨拶などを自然に口にする姿が見られ、嬉しく思っています。
- ・授業参観では、友達と自分の好きなものを一生懸命に伝え合い、お互いの発表を笑顔で聞き合う温かい様子が見られました。
- ・授業を参観した際、ALTのあとに続いて元気よく発音する姿が印象的でした。物怖じせず元気に挨拶できる子が増えていると感じます。